

PALSAR-2 の広域観測モード (ScanSAR) による全球モザイクの欠損域補完について

PALSAR-2 全球モザイクデータセットでは Ver.2 以降、作成対象となる該当年の高分解能モード (Stripmap) による観測データのみ使用しているため、観測が行われなかった領域は欠損域となります。欠損域を少しでも減らせるよう、2022 年の Ver.2.2.0 では広域観測モード (ScanSAR) による観測が行われていた場合はそのデータを用いた欠損域補完を適用しました。

しかし、両者の観測モードは分解能が異なっていることから、欠損域補完された領域は高分解能モード (Stripmap) で観測された隣接パスや過去の同一地点と比較して画質が異なっています(図)。

欠損域補完された領域は処理マスク情報から特定できます。詳しくは「[PALSAR-2/PALSAR 全球モザイクデータセット説明書](#)」をご確認ください。

今後、過去の PALSAR-2 データセットについても今回公開したデータセットの形式に合わせて再処理を行っていく予定です。

ご利用の際はご注意ください。

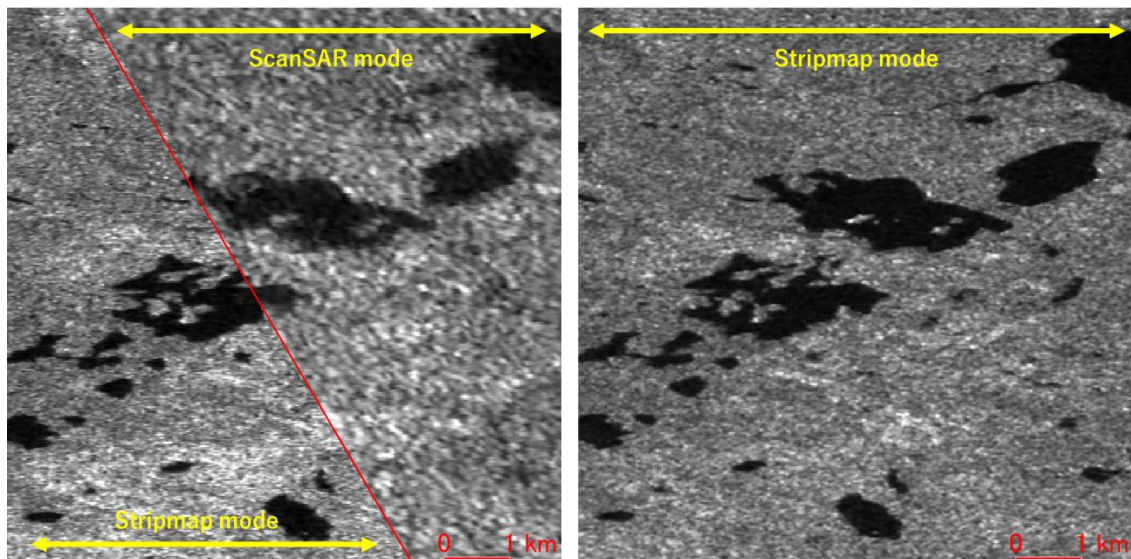


図 広域観測モード (ScanSAR) による観測データを用いた全球モザイク欠損域補完による画質の違い (N68W128 タイル、左：2022 年、右：2018 年)